創立者出身地への学生派遣プログラム（天童市）

日　程　２０１２年9月3日（月）～9月6日（木）

テーマ　「創立者出身地・てんどう活性化プロジェクト～天童ブランドの創造」

趣　旨

明治大学地域連携推進センターでは，本学創立者出身地（鳥取県，山形県天童市，福井県鯖江市）と連携協力に関する協定を締結し，多様な連携事業を推進しています。天童市と明治大学は，創立者の一人である宮城浩蔵先生が天童市出身であることから，２０１０年に協定を締結いたしました。

このたびは創立者出身地各地域について，学生と地域の人々の交流・連携を通じた「地域活性化への提言」を行う学生派遣プログラムを実施しました。天童市においては，市から５つのテーマ・課題が提示されました。このことに対する解決策・対応策を提案すべく，学生が主体となって事前調査・研究，グループワークを行い，天童市における調査・取材，グループワークなどを経た後，地域住民・行政・関係団体などと「熟議*」形式で課題や問題点を絞り込み，その成果を「具現化案」にまとめ鯖江市に報告しました。

＊「熟議」形式とは，地域，職業，立場，年齢，性別を越えたさまざまな人々が，対等な立場で，共通のテーマについて「課題や問題点」を整理し，議論を重ね，「課題や問題点の解決方法や対策」について意見交換しながら「解決策・対応策の提言」をまとめる協働作業を行う場のこと。

グループテーマ・参加者　学部学生２０名（男子１２名，女子８名）　◎リーダー

①グループ　将棋駒

◎山田　康平（商学部２年），酒井　結衣（法学部３年），江口　哲也（経営学部２年）

②グループ　天温泉

◎戸川　翔太（情報コミュニケーション学部２年），中村　未里（政治経済学部１年），
佐々木　健人（情報コミュニケーション学部２年），金子　あかり（経営学部２年）

③グループ　フルーツ

◎高橋　幸花（経営学部２年），太田　直規（商学部３年），竜澤　はるか（農学部１年），
松田　安友子（国際日本学部１年），川村 慶太（経営学部２年）

④グループ　歴史

◎河邉　崇弘（政治経済学部３年），高久　承実（法学部３年），
林　竜也（政治経済学部２年），久野　晃弘（経営学部２年）

⑤グループ　ホームタウンスポーツ

◎河野　宏基（政治経済学部４年），兼重　真武（経営学部４年），
藤田　惇志（商学部３年），須藤　友佳（経営学部２年）

大学における派遣学生への事前説明会及びグループワーク（８月１日）

プログラムの趣旨，意義を確認。天童市担当者および山形県東京事務所担当者からレクチャーを受けたのち，第１回目のグループワークを実施しました。また，現地研修前に山形県東京事務所，アンテナショップ訪問など取材・調査，資料収集，グループワークを随時行いました。

天童市におけるプログラム開始（９月３日）

到着後，市内視察を行なったのち，オリエンテーションを実施しました。山本信治市長からは，歓迎のあいさつと明大生に対する熱い期待が述べられました。オリエンテーション終了後に現地での初めての熟議を行いました。

担当課・熟議参加者との交流会（９月３日）

天童市担当部課職員，熟議参加者の出席をいただき実質的な熟議の場となる熱のこもった交流会となりました。
参加学生からは，プログラムにかける熱い意気込みも披露されました。

現地での取材及びグループワーク（９月４日・５日）

学生は徒歩，自転車をはじめ市担当者の車両を利用し，ヒアリング，調査等を精力的に行い，宿舎に戻ってからは，会議室を貸切り，その後宿舎ロビー，自室にて連日深夜，明け方までグループワークに取り組みました。

2回目の熟議（9月5日）

２回目の熟議にも多くの方々にお集まりいただき，現地調査を踏まえて，熱心な意見交換，議論がなされ充実した会となりました。

中間報告会（9月6日）

天童市職員はじめ，熟議参加者の出席のもと各グループ１０分で発表を行い，テーマごとに講評をいただくとともに，出席者からの質疑応答もあり，最終成果報告書作成にむけたたくさんの助言とねぎらいのお言葉をいただきました。

山本信治天童市長はじめ天童市職員のみなさん，また熟議に参加いただいたみなさん，学生の取材にご協力くださったみなさん，熱いご支援ご協力いただき，誠にありがとうございました。

創立者出身地への学生派遣プログラム（天童市）
最終成果報告発表会

日　程　２０１２年１２月８日（土）

会　場　天童市市民プラザ（天童市生涯学習フェスティバル 2012）

「天童市教育の日」記念「生涯学習フェスティバル」において，８月１日の第１回ガイダンスを皮切りに，現地派遣前の山形県東京事務所，アンテナショップ訪問などでの取材・調査，資料収集，グループワーク，９月３日～６日までの現地での調査・取材，熟議を踏まえて作成した成果報告書に基づき，成果報告を発表しました。

最終成果報告会参加者　１５名（男子９名，女子６名）

①グループ　　将棋駒　　チーム名「将棋維新の会」
山田　康平（商学部２年），酒井　結衣（法学部３年）

②グループ　　温泉　　チーム名「ドンと来い！　天童温泉」
戸川　翔太（情報コミュニケーション学部２年），金子　あかり（経営学部２年）

③グループ　　フルーツ　　チーム名「フルーツ薦隊」
高橋　幸花（経営学部２年），太田　直規（商学部３年），竜澤　はるか（農学部１年），
松田　安友子（国際日本学部１年），川村 慶太（経営学部２年）

④グループ　　歴史　　チーム名「You’re beautiful」
河邉　崇弘（政治経済学部３年），高久　承実（法学部３年），
林　竜也（政治経済学部２年），久野　晃弘（経営学部２年）

⑤グループ　　ホームタウンスポーツ　　チーム名「一紫入魂」
河野　宏基（政治経済学部４年），藤田　惇志（商学部３年）

最終成果報告会および交流会

成果報告発表会終了後，山本信治天童市長はじめ天童市担当部課職員のみなさんとの交流会を開催しました。会の席上，山本市長から，優秀賞と最優秀賞が発表され，「将棋ランド天童」を提言した将棋班（山田康平・商２年，酒井結衣・法３年，江口哲也・経営２年）が最優秀賞に，「舞鶴山観光拠点案」「電子観光案内板」「地域団体商標」を提言した歴史班（河邉崇弘・政経３年，林竜也・政経２年，久野晃弘・経営２年，高久承実・法３年）が優秀賞を受賞しました。賞品として，生産量日本一を誇る天童市特産の「スーパー　ラ・フランス」がそれぞれに贈られました。参加学生一人ひとりからは，今回のプログラムの感想や得られたもの，お世話になった天童市関係者へのお礼などが述べられ，和やかな雰囲気のもと天童市関係者との交流と懇親のひとときを楽しみました。

山本信治天童市長はじめ天童市職員のみなさん，また熟議に参加いただいたみなさん，学生の取材・調査にご協力くださったみなさん，熱いご支援ご協力いただき，誠にありがとうございました。
そして，本プログラムを最後までやり遂げた参加学生のみなさん，お疲れさまでした。

創立者出身地への学生派遣プログラム（鯖江市）

日　程　２０１２年8月27日（月）～8月３０日（木）

テーマ　「創立者出身地・さばえ活性プロジェクト～鯖江ブランドの創造」

趣　旨

明治大学地域連携推進センターでは，本学創立者出身地（鳥取県，山形県天童市，福井県鯖江市）と連携協力に関する協定を締結し，多様な連携事業を推進しています。鯖江市と明治大学は，創立者の一人である矢代操先生が鯖江市出身であることから，２０１１年度に協定を締結いたしました。

このたびは創立者出身地各地区について，学生と地域の人々の交流・連携を通じた「地域活性化への提言」を行う学生派遣プログラムを実施しました。鯖江市においては，市から４つのテーマ・課題が提示されました。このことに対する解決策・対応策を提案すべく，学生が主体となって東京で事前調査・研究，グループワークを行い，鯖江市における調査・取材，グループワークなどを経た後，地域住民・行政・関係団体などと「熟議*」形式で課題や問題点を絞り込み，その成果を「具現化案」にまとめ鯖江市に報告しました。

＊「熟議」形式とは，地域，職業，立場，年齢，性別を越えたさまざまな人々が，対等な立場で，共通のテーマについて「課題や問題点」を整理し，議論を重ね，「課題や問題点の解決方法や対策」について意見交換しながら「解決策・対応策の提言」をまとめる協働作業を行う場のこと。

グループテーマ・参加者　学部・大学院学生１６名（男子１２名，女子４名）　◎リーダー

①グループ　市民主役のまちづくり（『熟議』手法をつかって）

◎安井　奈緒子（経営学部２年）, 高橋　凌士（商学部２年）
黒木　俊太郎（法学部３年），田中　佑弥（政治経済学部３年），

②グループ　中心市街地の賑わいの創出について

◎山下　龍太郎（大学院　商学研究科１年），大塚　眞由（国際日本学部２年），
亀ヶ谷 沙織（情報コミュニケーション学部２年），池田　大地（法学部１年）

③グループ　市民協働による食育推進～食でつながるみんなのさばえ～

◎開發　祐介（経営学部４年），栗原　信彦（商学部３年），
菊池　友裕（商学部１年），川田 美緒（国際日本学部１年）

④グループ　鯖江型の生涯スポーツ社会の実現

◎伴　雄介（経営学部４年），伊藤　宏樹（経営学部３年），
内田　隼太（経営学部３年），坂田　直人（政治経済学部１年）

大学における派遣学生への事前説明会及びグループワーク（８月１日）

開催の趣旨，意義を確認。鯖江市企画財政課渡辺敏広様に出張レクチャーをしていただきました。第１回目のグループワークを実施しました。また，現地研修前に福井県東京事務所，アンテナショップ訪問など取材・調査，資料収集，グループワークを随時行いました。

鯖江市におけるプログラム開始（８月２７日）

到着後鯖江市マイクロバスにて中心市街地，西山公園，まなべの館等を視察しまなべの館敷地内にある矢代操先生胸像の前で感謝の意を表し，研修の充実を誓いました。

市長・商工会議所会頭との座談会（８月２７日）

牧野市長から鯖江市の概況，財政状況，産業，さばえ自慢，現在のまちづくりプロジェクト学生との連携など市況についてご講演いただき，野村会頭からは，さばえの産業振興などについてのお話を伺い学生との質疑応答をしていただきました。

市担当者との意見交換会（８月２７日）

課題解決の具現化への取り組みにあたり，鯖江市総務部市民協働課，産業環境部商工政策課，産業環境部農林政策課，教育委員会スポーツ課各担当者と課題確認，情報交換等を行いました。

担当課・熟議参加者との交流会（８月２７日）

当日は，鯖江市民主役条例推進委員会をはじめ商店街連合会，商工会議所，NPO 法人小さな種・こころる，公益法人福井・くらしの研究所，さばえスポーツクラブ，丹南ケーブルテレビ，セカンドアカデミー，校友会の各関係者のご出席をいただき実質的な熟議の場となる熱のこもった交流会となりました。

現地での取材及びグループワーク（８月２８日・２９日）

学生は各々徒歩，バス，自転車をはじめ市担当者の車両を利用させていただきヒアリング，調査等を精力的に行い，宿舎に戻ってからは，会議室を貸切り，その後宿舎ロビー，自室にて連日深夜，明け方までグループワークに取り組みました。

白熱の熟議（まなべの館）（８月２９日）

熟議参加時刻はまだ就業時間帯でしたが多くの方々にお集まりいただき，試行錯誤しながらも熱心な意見交換，議論がなされ充実した会となりました。

熟議後宿舎で深夜，早朝まで中間報告書作成に励みました。

中間報告会（８月３０日）

約８０名の方のご出席のもと各グループ１０分の発表を行い，牧野市長，野村会頭より講評をいただくとともに，出席者からの質疑応答もあり最終報告に向けたたくさんの助言等をいただきました。終了後，牧野市長から学生全員が「さばえ親善大使」に任命されました。

牧野百男鯖江市長はじめ職員のみなさん，また数多の皆々様，心の籠った，熱いご支援ご協力いただき，誠にありがとうございました。

創立者出身地への学生派遣プログラム（鯖江市）
最終成果報告発表会

日　程　２０１２年１１月１８日（土）

会　場　鯖江市響陽会館（「さばえしものづくり博覧会 2012」会場）

創立者の一人である矢代操先生の出身地鯖江市と２０１１年に締結した連携協定に係る事業の一環として同プログラムを実施しました。８月１日の第１回ガイダンスを皮切りに，現地派遣前の福井県東京事務所，アンテナショップ訪問などでの取材・調査，資料収集，グループワーク，８月２７日～３０日までの現地での調査・取材，熟議を踏まえた中間発表を経て,１０月３１日に最終報告書を提出，鯖江市初開催「さばえものづくり博 2012」会場において発表会を開催しました。

最終成果報告会参加者　９名（男子６名，女子３名）

①グループ　市民主役のまちづくり　　チーム名「サ（イ）バーエージェント」
田中　佑弥（政治経済学部３年），安井　奈緒子（経営学部２年）

②グループ　中心市街地のにぎわいの創出について
山下　龍太郎（大学院　商学研究科１年），大塚　眞由（国際日本学部２年），
亀ヶ谷 沙織（情報コミュニケーション学部２年）

③グループ　市民協働による食育推進　　チーム名「チーム健康」
開發　祐介（経営学部４年），菊池　友裕（商学部１年）

④グループ　ホームタウンスポーツ　　チーム名「鯖江スポーツ」
伴　雄介（経営学部４年），坂田　直人（政治経済学部１年）

最終成果報告会

学生と地域の人々の交流・連携を通じた「地域活性化への提言」を行う同プログラムは「創立者出身地・さばえ活性プロジェクト～鯖江ブランドの創造～」を大テーマとして鯖江市から提示された①市民主役のまちづくり（『熟議』手法をつかって）②中心市街地の賑わいの創出について③市民協働による食育推進～食でつながるみんなのさばえ～④鯖江型の生涯スポーツ社会の実現、の４つのテーマ・課題に各グループ４人が取り組みました。情報の少ない中での事前研修から現地でのフィールドワーク、熟議、中間発表での講評の各機会多くの「気づき」を得、大学に戻り再々検討や練り直しを経て最終報告に臨みました。最優秀賞は一泊二日のツアー形式の「ツアー型合コン」を提案した第四グループ、オーディエンス賞は「サザエさん一家の団欒をモデルとして市民の意見を聞く場を設ける」提言をした第一グループが各々受賞しました。最後に、青雲の志を抱き東京への第一歩を踏み出した矢代操先生の旧宅地跡を訪ね参加学生各々思いを馳せ，心新たにしました。

牧野鯖江市長はじめ鯖江市職員のみなさん，また多忙な中熟議に参加いただいたみなさん，学生の取材・調査にご協力くださったみなさん，熱いご支援，心あたたまるご対応をいただき，誠にありがとうございました。
そして，本プログラムを最後までやり抜いた参加学生のみなさん，お疲れさまでした。